

1年生増村朴齋記念館見学(令和4年5月17日)

5月17日(火)、1年生が本校の創立者増村朴齋先生の居住後に建設された記念館を見学しました。これは毎年新入生に実施しているもので、講師を同窓会長小林正之様にお越し、記念館建設の経緯、増村朴齋先生の人物像、記念碑・展示品等について約50分にわたり解説していただきました。

朴齋先生は明治29年に有恒学舎を設立しましたが、その建学の精神は「地元に残って活躍する人材、地域のリーダーになる人材の育成」でした。当時、県下には中学校が5校あり、上越地域には高田中学校(現高田高校)がありましたが、地元振興のために設立しました。そして明治36年に校門外の地に住居(公宅と称す)を建て、教育に専念する教化の道場として利用したそうです。現在の記念館は昭和57年に改築されたもので、内部の展示品は増村朴齋遺徳顕彰会、旧板倉町民、同窓会の方々の寄付により整備したとのことでした。また記念館の庭園には、会津ハリーが揮毫(きごう)した「朴齋先生碑」が建立されていますが、この碑の文字は会津ハリー一筆生(ひっせい)の大作といわれているものです。他にも本校の校名出典の碑があり、校名に込められた思い(恒に自己を偽らない、正しく変わらない信念と主義・主張を保持する人間を育成する)が伝わってきました。また、内部の展示品には、朴齋先生が8歳3ヶ月で書いた書や使用していた筆等が展示しており、その優れた才能に目を見張りました。

生徒たちは自分が在籍している学校の歴史と建学の精神を知り、これからの学校生活のみならず、人生において、きっと役立ててくれるものと信じています。



